第27回FDフォーラム
報告集

第７分科会

コロナ禍における保育士養成
－学外実習の学びの意義の再考－

報告者

新川 泰弘 氏　関西福祉科学大学 教育学部 教授
榎本 祐子 氏　びわこ学院大学 教育福祉学部 専任講師
大村 海太 氏　桜美林大学 健康福祉学群 助教
本田 和隆 氏　大阪千代田短期大学 幼児教育科 准教授

コーディネーター

安田 誠人 氏　大谷大学 教育学部 教授

P1～	趣旨説明		安田 誠人 氏
P5～	講演1.	「保育士養成における学外実習の実際」	新川 泰弘 氏
	講演5.	「コロナ禍における保育実習の実際」	新川 泰弘 氏
P12～	講演2.	「コロナ禍における保育実習指導Ⅰの実際」	榎本 祐子 氏
	講演6.	「コロナ禍における学内実習の取り組みの実際」	榎本 祐子 氏
P22～	講演3.	「実習指導の概要」	本田 和隆 氏
	講演7	「学内実習の取り組み」	本田 和隆 氏
P32～	講演4.	「保育実習指導におけるオンライン授業の取り組み」	大村海太 氏
	講演8.	「コロナ禍における施設実習の取り組みと振り返り」	大村海太 氏

〈第7分科会〉

コロナ禍における保育士養成
－学外実習の学びの意義の再考－

コーディネーター
安田 誠人 氏（大谷大学 教育学部 教授）

第７分科会
「コロナ禍における保育士養成 －学外実習の学びの意義の再考－障がいのある学生に対する教育的支援の現状と課題」
大谷大学教育学部　教授　安田　誠人

１．分科会概要：
第７分科会では、コロナ禍における保育士養成の学外実習がどのように行われており、また、今後どのように取り組んでいくべきか、その学びの意義を再考する。新型コロナウイルス感染拡大によって保育士養成における学外実習を通常通りに実施することが困難となるケースがあるため、①保育士養成における学外実習の位置づけと②学外実習の取り組みの実際について話題提供することで、保育士養成における学外実習の学びの意義を再考するための意見交換を行い、理解を深めたい。

２．第７分科会のプログラム
14：00～14：05　分科会７　趣旨・概要説明
大谷大学 教育学部 教授 安田 誠人 氏
14：05～14：15 講演 1.「保育士養成における学外実習の実際」
関西福祉科学大学 教育学部 教授 新川 泰弘 氏
14：15～14：25 講演 2.「コロナ禍における保育実習指導Ｉの実際」
びわこ学院大学 教育福祉学部 専任講師 榎本 祐子 氏
14：25～14：35 講演 3.「実習指導の概要」
大阪千代田短期大学 幼児教育科 准教授 本田 和隆 氏
14：35～14：45 講演 4.「保育実習指導におけるオンライン授業の取り組み」
桜美林大学 健康福祉学群 助教 大村 海太 氏

14：45～14：55 休憩

14：55～15：05　意見交換とまとめ
大谷大学 教育学部 教授 安田 誠人 氏
15：05～15：15 講演 5.「コロナ禍における保育実習の実際」
関西福祉科学大学 教育学部 教授 新川 泰弘 氏
15：15～15：25 講演 6.「コロナ禍における学内実習の取り組みの実際」
びわこ学院大学 教育福祉学部 専任講師 榎本 祐子 氏
15：25～15：35 講演 7.「学内実習の取り組み」
大阪千代田短期大学 幼児教育科 准教授 本田 和隆 氏
15：35～15：45 講演 8.「コロナ禍における施設実習指導の取り組みと振り返り」
桜美林大学 健康福祉学群 助教 大村 海太 氏

15：45～15：55 休憩

〈第7分科会〉

コロナ禍における保育士養成
－学外実習の学びの意義の再考－

コーディネーター
安田 誠人 氏（大谷大学 教育学部 教授）

15：55～16：05　意見交換とまとめ
大谷大学 教育学部 教授 安田 誠人 氏

３．第７分科会の内容
冒頭に、事務局からオンライン方式での開催、進行方法、留意点などについて事務連絡を行っていただいた後、第７分科会コーディネーターの安田誠人から、開会挨拶及び、趣旨・概要説明をさせていただいた。

講演 1.「保育士養成における学外実習の実際」
関西福祉科学大学 教育学部 教授 新川 泰弘 氏
・関西福祉科学大学における専門職養成
・関西福祉科学大学　教育学部　子ども教育養成における学外実習
・保育士養成における学外実習
　実習指導の内容、実習指導の心構え
・学外の実習先との連絡調整

講演 2.「コロナ禍における保育実習指導Ｉの実際」
びわこ学院大学 教育福祉学部 専任講師 榎本 祐子 氏
・びわこ学院大学の保育士養成取得者の授業スケジュール
・「教科目の授業内容」から見る保育実習指導に求められていること
・びわこ学院大学での 2020 年度の実習の流れ
・実習担当教員及び実習支援課の実習業務、役割
・コロナ禍での保育実習事前指導の対応
・コロナ禍での保育実習事前指導Ｉの困難点
・コロナ禍の指導で大切にしている点

講演 3.「実習指導の概要」
大阪千代田短期大学 幼児教育科 准教授 本田 和隆 氏
・実習に関わる組織体制
・実習全体の流れ
・実習指導の内容

講演 4.「保育実習指導におけるオンライン授業の取り組み」
桜美林大学 健康福祉学群 助教 大村 海太 氏
・本来の実習時期とスケジュール
・施設見学
・オンライン授業
・オンライン授業で使用したツール

〈第7分科会〉

コロナ禍における保育士養成
－学外実習の学びの意義の再考－

コーディネーター
安田　誠人　氏（大谷大学 教育学部 教授）

講演 5.「コロナ禍における保育実習の実際」
関西福祉科学大学 教育学部 教授 新川 泰弘 氏
・保育士養成課程における学外実習の実際
・コロナ感染拡大に伴う対応
・学外実習先確保と連絡調整
・学外実習から学内演習への移行

講演 6.「コロナ禍における学内実習の取り組みの実際」
びわこ学院大学 教育福祉学部 専任講師 榎本 祐子 氏
・2020 年度コロナ禍における学外実習の代替措置までの経緯
・学内実習実施体制
・厚生労働省子ども家庭局保育課による事務連絡（2020B）の実習の代替措置の方法に関する具体的な記述箇所
・学内実習の 5 つの柱
・実習日程とスケジュール
・学内実習の分担、書類対応等

講演 7.「学内実習の取り組み」
大阪千代田短期大学 幼児教育科 准教授 本田 和隆 氏
・コロナ禍における実習実施の方針
・2020 年度、2021 年度の状況（2 回生）
・学内実習の取り組み
・コロナ禍における実習を経験して
・コロナ禍における学内実習の意義と意義と課題
・学外実習における意義とは

講演 8.「コロナ禍における施設実習指導の取り組みと振り返り」
桜美林大学 健康福祉学群 助教 大村 海太 氏
・当初の実習期間
・コロナ禍以降の保育実習の対応
・訪問指導
・保育実習Ⅰ（施設）を実施した学生を対象としたアンケート調査
・実習先の指導担当者へのアンケート

意見交換とまとめ
大谷大学 教育学部 教授 安田 誠人 氏
　チャット形式による質疑応答を実施させていただいた。主な質疑応答について記述させていただいた。
・実習延期や中止の割合　保育実習が延期や中止になりやすい施設種別はあるか。

コロナ禍における保育士養成
－学外実習の学びの意義の再考－

コーディネーター
安田 誠人 氏（大谷大学 教育学部 教授）

⇒それぞれの大学、短大、専門学校や地域により違いはあるものの、どの施設種別でもほぼ同様に、延期や中止になったと思われる。施設種別による違いよりもコロナ流行の時期やそれぞれの施設の感染状況による影響の方が大きかったと感じている。

・昨年度のコロナ禍における保育実習、保育実習指導での対応を踏まえて、今年度実践をしていることはあるか。

⇒オンライン授業の技術的向上、対面授業での感染対策の徹底が実施することができ、ある程度落ち着いた取り組みが可能となった。

・学生さんから不満の声はないか。

⇒学生からは特に不満の声は聞かれなかった。もちろん学生さん同士ではいろいろな気持ちや考えがあることはわかっているが、「コロナ禍では仕方がない」との気持ちが学生さんに根付いていると思われる。とりあえず、「保育士資格を取得することには問題がない」と分かったことによる安心感の方が強かったと思われる。

４．まとめ

第７分科会には、加盟校、非加盟校合わせて 24 名の申し込みをいただいた。オンラインでの分科会であるため、意見交換やディスカッションを十分にすることが難しく、一方通行的になってしまったことは否めない。また話題提供をしていただいた先生方も、参加者の表情や雰囲気がつかめないため、事前に準備していただいた報告をしていただくことになった。

ただオンラインであったことにより、コロナ禍であるにも関わらず、遠方の教職員の方々からも多く参加していただいた。またチャットによる質問もしていただき、ある程度は双方向でのやり取りもできたのではないかと思っている。コロナ禍での保育士養成については徐々に対応ができているとはいえ、それぞれの養成校で苦労しながら手探りで取り組んでいる状況にあると思われる。今回の分科会での報告が少しでもそれぞれの養成校での取り組みの参考になればありがたいと思っている。

コロナ禍の収束が見通せない中、今後も苦労や工夫をしながら保育実習、保育実習指導を行っていくことになると思われる。保育実習をお願いする児童福祉施設、障害者施設の職員さんの実習受け入れの負担も大きいことも理解をすることも必要である。今後は実習受け入れをしていただいている施設との連携についても検討をしていきたい。

コーディネーター：安田誠人（大谷大学教育学部）

コロナ禍における保育士養成
－学外実習の学びの意義の再考－

関西福祉科学大学
新川泰弘

アウトライン

コロナ禍における保育士養成

講演1．保育士養成における学外実習の実際
- 実習指導の内容
- 学外の実習先との連絡調整
- コロナウイルス感染拡大による実習開始前の指導の変化

講演5. コロナ禍における保育実習の実際
- 学外の実習先確保と複数回にわたる連絡調整
- コロナ感染拡大に伴う対応

5

講演1．保育士養成における
学外実習の実際

関西福祉科学大学の所在地
である「大阪府柏原市」と
最寄り駅の近鉄河内国分駅、
JR高井田駅、近鉄古市駅

関西福祉科学大学における専門職養成

学部・学科		取得可能な資格・免許
社会福祉学部	社会福祉学科	・社会福祉士（国家試験受験資格）※1※2 ・精神保健福祉士（国家試験受験資格）（定員10名）※1※2 ・介護福祉士（国家試験受験資格）（定員40名） ・社会福祉主事任用資格
心理科学部	心理科学科	・精神保健福祉士（国家試験受験資格）（定員20名） ・認定心理士（申請資格） ・認定健康心理士（申請資格） ・公認心理師（国家試験受験資格）（定員55名）※3 ・社会福祉主事任用資格
健康福祉学部	健康科学科	・養護教諭一種免許状 ・第一種衛生管理者（申請資格） ・高等学校教諭一種免許状「保健」 ・中学校教諭一種免許状「保健」 ・公認心理師（国家試験受験資格）（定員5名）※3 ・認定健康心理士（申請資格） ・准学校心理士（申請資格） ・社会福祉主事任用資格
	福祉栄養学科	・管理栄養士（国家試験受験資格） ・栄養士 ・栄養教諭一種免許状 ・食品衛生管理者任用資格 ・食品衛生監視員任用資格 ・フードスペシャリスト ・社会福祉主事任用資格
保健医療学部 リハビリテーション学科	理学療法学専攻	・理学療法士（国家試験受験資格） ・社会福祉主事任用資格
	作業療法学専攻	・作業療法士（国家試験受験資格） ・社会福祉主事任用資格
	言語聴覚学専攻	・言語聴覚士（国家試験受験資格） ・社会福祉主事任用資格
教育学部 教育学科	子ども発達教育専攻	・小学校教諭一種免許状 ・特別支援学校教諭一種免許状 ・幼稚園教諭一種免許状※ ・保育士（定員50名）※ ・准学校心理士（申請資格） ・社会福祉主事任用資格

教育学部における専門職養成
中でも、赤字で囲っている箇所は、
教育学部子ども教育専攻での学外実習を経て取得する「①保育士」と「②幼稚園教諭１種免許状」

関西福祉科学大学 教育学部 子ども教育専攻における学外実習
保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習Ⅱ（保育所）、保育実習Ⅲ（施設）＋教育実習（幼稚園）

学期	月	1年	2年	3年	4年	月
			保育実習講義 保育実習Ⅰ（保育所）事前指導	保育実習Ⅰ（保育所）事後指導 教育実習（幼稚園）事前指導 保育実習Ⅰ（施設）事前指導	保育実習Ⅰ（施設）事後指導 保育実習Ⅱ（保育所）または 保育実習Ⅲ（施設）事前・事後指導	
春学期	4月			保育実習Ⅰ(保育所)事後指導 ↓	保育実習Ⅰ(施設)事後指導 ↓	4月
	5月			教育実習(幼稚園)事前指導 ↓	保育実習Ⅱ(保育所)またはⅢ(施設)事前指導 ↓	5月
	6月			↓	↓	6月
	7月			↓	↓	7月
	8月			教育実習（幼稚園）	保育実習Ⅱ	8月
	9月			教育実習（幼稚園）	保育実習Ⅲ	9月
秋学期	10月		保育実習Ⅰ事前指導 ↓	教育実習(幼稚園)事後指導 ↓	・保育士資格申請準備 保育実習Ⅱ(保育所)またはⅢ(施設)事後指導 ↓	10月
	11月		↓	保育実習Ⅰ(施設)事前指導 ↓	↓	11月
	12月		↓	↓	↓	12月
	1月		↓	↓	↓	1月
	2月		保育実習Ⅰ（保育所）	保育実習Ⅰ（施設）		2月
	3月		保育実習Ⅰ（保育所）	保育実習Ⅰ（施設）	・保育士資格申請	3月

Ⅰ．保育士養成における学外実習

１．実習指導の内容　実習の心構え　その１

１）実習目的：学ばせていただくために実習していることを常に自覚する

＊自分で考えて主体的に行動する
＊失敗した経験から反省的に学ぶ
＊子どもとの関わりなど実習の体験を通して、実践の難しさを知る

２）子どものよさ、成長、発達に気づく

＊保育者の援助や子どもの様子よく観察して、日誌に具体的なやりとりを記録する

実習指導の内容　実習の心構え　その２

３）時間厳守、提出期限厳守、礼儀正しい態度
（丁寧な挨拶、正しい言葉遣いと態度）

４）ツイッターやフェイスブックなどSNSへ実習に関する書き込み厳禁（倫理・人権尊重）

５）学外実習での学びや経験をふりかえり、大学の講義や演習などで学んだ知識や技術とつなぐ

２．学外の実習先との連絡調整

・児童養護施設など児童福祉施設においては、２年前に調整して内諾を取り、半年前に再調整して、正式に依頼するため、複数回の連絡調整が必要

３．コロナウイルス感染拡大による実習開始前の指導の変化

・コロナウイルス感染拡大により、状況が大きく変化し、実習先からPCR検査などを求められたり、健康管理チェックリストをオリエンテーション前、実習前、施設見学前など、複数回にわたってきっちり取り組まなければならない

・突然、実習中止、実習延期といったことも生じるため、柔軟に対応することが求められる

講演５．コロナ禍における保育実習の実際

Ⅱ．保育士養成課程における学外実習の実際
①保育実習は計3回実施
②実習の種類も4種類有
→たとえば、教育実習と比べても、「種類」と「回数」が多い
③計３回、４種類の実習を行うため、
複雑な業務を同時並行的に行わざるをえない
④中でも、児童養護施設など児童福祉施設は、
２年以上前に実習先の枠を確保することが有
→４年間のスケジューリングが複雑

1．コロナ感染拡大に伴う対応
突然、実習中止、実習延期といったことが発生

2．学外実習先確保と連絡調整
突然、実習中止、実習延期となると再調整が必要

＊保育実習指導に関わる業務は、実習以外の講義・演習科目と業務内容が異質

＊学外の実習先との対外的な交渉や調整にかなりのエネルギーを注ぐことが求められる

学外実習から学内演習への移行

- 1コマ1.5時間（90分）＝53コマ＋30分
- AM/PM＝AM4時間＋PM4時間

＊１段階：プラン①4～6月　学外実習（連続10日間）
＊２段階：プラン②4～6月　学外実習（非連続10日間）
＊３段階：プラン③7月上旬迄に学外実習不可の場合
（6月上旬迄に見込みがない場合）　→学内演習
A:6～7月の空き時間、B：6～7月の土・日

＜内容＞

1．外部講師による社会的養護、障害福祉に関する講義
2．社会的養護、障害福祉の視聴覚教材での学習
3．グループ発表に向けた準備学習
4．グループ発表での学習
5．実習先の施設について学習

＜テーマ＞「コロナ禍における保育士養成
—学外実習の学びの意義の再考」

講演２

②コロナ禍における保育実習指導Ⅰの実際

びわこ学院大学教育福祉学部
榎本　祐子

本学の保育士資格取得者の授業スケジュール

養成校で保育士資格を取得するためには、10日間80時間の実習に3回参加。

1回目
- 保育実習指導Ⅰ（施設）　2年　秋学期
- 保育実習Ⅰ（施設）　2年　２～３月（秋学期）

2回目
- 保育実習指導Ⅰ（保育所）　3年　春学期
- 保育実習Ⅰ（保育所）　3年　8月後半

3回目　（保育所を選択する人（Ⅱ）、保育所以外の施設を選択する人（Ⅲ））
- 保育実習指導Ⅱ or Ⅲ　4年　春学期
- 保育実習Ⅱ or Ⅲ　4年　9月

12

「教科目の授業内容」から見る保育実習指導Ⅰに求められていること

【保育実習】

＜教科目名＞　保育実習指導Ⅰ（演習・２単位）
＜目標＞ １．保育実習の意義・目的を理解する。 ２．実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 ３．実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ４．実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 ５．実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。
＜内容＞ １．保育実習の意義 （１）実習の目的 （２）実習の概要 ２．実習の内容と課題の明確化 （１）実習の内容 （２）実習の課題 ３．実習に際しての留意事項 （１）子どもの人権と最善の利益の考慮 （２）プライバシーの保護と守秘義務 （３）実習生としての心構え ４．実習の計画と記録 （１）実習における計画と実践 （２）実習における観察、記録及び評価 ５．事後指導における実習の総括と課題の明確化 （１）実習の総括と自己評価 （２）課題の明確化

「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」
一部改正 子 発 0 4 2 7 第 ３ 号 平成 30 年 4 月 27 日より抜粋

- 「実習とは何か」といった基本から学ぶ。
- 利用者の最善の利益や守秘義務など、保育士としての基本的姿勢について学ぶ。
- 実習日誌の書き方など、記録の方法について学ぶ。

専門職として身に着けてほしいことについて指導するとともに、社会人としてのマナーを伝える側面も大きい。

また、何のために各種施設に実習に行くのか十分な説明が必要。（保育所保育士を目指している学生の中には、保育所実習の練習と思っている学生もいる。）

本学での施設実習の流れ（今年度）

	授業内容
①	オリエンテーション
②	施設実習の意義、目的実習について学ぶ
③	実習日誌の書き方①
④	実習日誌の書き方②
⑤	個人票の書き方
⑥	実習先の発表、個人票の清書と確認
⑦	実習先調べの説明、作業開始
⑧	実習先調べ
⑨	実習先調べ発表会
⑩	先輩にきてもらい情報交換会
⑪	施設職員の話
⑫	計画書作成　説明＆個別指導
⑬	計画書作成の仕上げ　個別指導
⑭	最終オリエンテーション
⑮	事後指導　各自

主な実習業務、役割

教員

- 学生約30人に対し、主担当１名、副担当３名
- 主担当の役割　保育実習Ⅰ（施設）が円滑に実施できるように、責任をもって学生を指導、実習巡回や演習の補助をする副担当への連絡調整
- 実習・実践支援課が調整した実習先に学生を配属する。（学生の適正、人間関係、通いの場合は自宅からの交通の便、成育歴、基礎疾患などを考慮）

連携が重要

実習・実践支援課職員

- 実習先の確保
- 実習先に送付する資料の作成と郵送
- 実習先との連絡・調整

コロナ禍での保育実習事前指導の対応

- 利用者はさまざまな疾患をもっておられることもあるため、普段から感染予防対策を徹底するように伝える。
- コロナ禍では「学外実習に関する誓約書」に加え、「新型コロナウイルス感染症防止対策事項の遵守にかかる誓約書」も取り交わしている。
- 「新型コロナウイルス感染症防止対策事項の遵守にかかる誓約書」の内容

　日ごろからのウイルス対策に加え、実習2週間前からは、

　不要不急の外出、飲食を伴う活動への参加、アルバイト、感染リスクの高まる場所への出入り、県外への移動（自宅を除く）を自粛することになっている。

　このような指導の理由についても説明する必要がある。

コロナ禍での保育実習事前指導Ⅰの困難点

- コロナの情勢は急激に変化するので、見通しをもって指導することが難しい。
- 実習は２月～３月、事前指導は１月前半で終わるので、指導終了後の１～２か月の間に、緊急事態宣言、クラスターの発生、実習の延期や中止の申し出などさまざまなことが起こる。その都度迅速な対応が必要である。
- 学生は通常時から不安な気持ちを抱えて実習に参加している。これに加え、実習が本当にあるのか、途中でどうなるかわからないなどのさらなる不安があり、実習に集中できる環境にない（モチベーションを維持するのが大変）。

コロナ禍の指導で大切にしている点

- 非常に厳しい状況の中での実習であるが、実際に職に就いた際にも様々な問題が起こる。このような状況だからこそ学べることもあるのでチャンスであると捉えてほしいと前向きに伝える。
- 施設の対応もさまざまであるが、緊急事態時の職員対応の実際を学べる貴重なチャンスである。感染対策の一環で経験の幅が制限されることもあるが、その中で学べることを最大限に学んできてほしいと伝える。
- 教員の負担も普段に増して大きいが、最大限学生をサポートするようにこころがけている。

＜テーマ＞「コロナ禍における保育士養成
―学外実習の学びの意義の再考」

講演６

⑥コロナ禍における学内実習の取り組みの実際

びわこ学院大学教育福祉学部
榎本　祐子

びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部について

住所：滋賀県東近江市布施町２９　創立：１９３３年

教育福祉学部

・子ども学科（定員８０名）・スポーツ教育学科（定員４０名）

短期大学部ライフデザイン学科

・児童学コース（定員３０名）・健康福祉コース（定員３０名）

・キャリアデザインコース（定員２０）

田舎にある小さな大学ということで、2020年度秋学期はほぼ全面対面授業が実施できました。コロナ禍では「地方大学」、「小規模大学」の強みが生かせています。

☆滋賀県東近江市に位置する収容定員670人のとても小さな大学。
☆滋賀県で、小規模校ということもあり、滋賀県出身の学生が多い。
☆4年制も2年制も1学年約２０～３０人の保育士を養成。

16

2020年度コロナ禍における学外実習の代替措置までの経緯

・本学は、地方の小規模校の強みを生かし、対面での授業を実施してきた。

・しかし、緊急事態宣言こそ出なかったものの、施設等でクラスターが発生し、急遽施設での実習が困難になった学生がいた。

・2021（令和3）年1月13日の臨時の実習・実践支援センター企画運営会議（本来の委員に加え，各実習主担当教員が臨時に参加）において，以後，実習施設から実習受け入れ中止の連絡があった場合，原則新たな実習先の開拓はせず，該当学生は学内実習に参加することになった。

学内実習実施体制

担当・組織	教員・事務職員	学内実習に関する役割
学内実習主担当	教員	学内実習内容案の作成、学内実習実施の責任。
幼保実習小委員会	教員	学内実習内容の決定、学内実習の役割分担。
実習・実践支援課	事務職員	学内実習に関する事務全般、調整。

17

厚生労働省子ども家庭局保育課による事務連絡（2020B）の実習の代替措置の方法に関する具体的な記述箇所

4．実習等に関する他分野の国家資格の各学校養成所等での実践事例等

他分野の国家資格の学校養成所等においては，以下のような取組が行われている，もしくは実施が予定されている．各養成施設で実施に向けた環境や課題が異なることは十分に考えられるが，適宜参照の上，対応いただきたいこと．

(1)オンラインによる模擬実習（カンファランス，ミニ講義，ビデオ供覧と解説，試問，レポート提出）．

(2) オンラインによる観察・記録等の養成を目的とする授業．

(3) 学内で事例検討や動画視聴．

(4) 実習の予習ノートを用いた e-Learning による在宅学習（各実習の指導教員がメールでの質問へ回答）．

(5)実習先講師を招聘し，実習先での状況や実習を行った時の対応など，通常より現場に近い授業演習を実施．

(6) 臨地（病室，在宅，居室）と大学をオンライン接続し，以下の内容の学内実習を行う．

・臨床実習への協力の同意を得た患者にオンラインで聴取する．

・指導教員が収集した患者の日々の様子の映像情報を用いて，計画を策定する．

・リアルタイムの患者の状況を確認・評価しながら，日々の計画を策定する．

・学生が役割分担するなどにより，学内でのロールプレイを通じて技術を修得する．

学内実習の５つの柱

学内実習の柱	具体的な内容
①基本学習の復習	各施設の機能や役割についての学びの復習
②現場の実情の把握　※	実践現場の講師の招聘
③活動案の作成と実施　※	活動案の作成の指導、作成、ロールプレイ
④体験学習	車いす体験、地域への散策
⑤実習に関わる文書の作成	実習計画書、実習日誌、活動案、小レポート、実習のまとめ、お礼状の作成

※部分参加となった学生はとくに②と③を優先的に学ぶ

実習日程とスケジュール

- 3月9日（火），10日（水），11日（木），12日（金），15日（月），16日（火），17日（水），18日（木），22日（月），23日（火）の10日間で実施した．
- 10日は本学の入試日と重なり，学生は学内入校禁止であることから，オンラインでの実習実施とした．また，19日（金）は卒業式で教員も実習対応ができないため，日程から外した．
- 来校しての実習時間は原則9時から16時まで，在宅での実習時間は2時間とした．学外実習と同様に毎日実習日誌を作成し，在宅の実習時間も日誌に明記するように伝えた．12日のみ，来校しての実習時間は10時40分から17時50分までである．学内，在宅合わせて80時間以上の実習時間を確保できるよう設定した．

学内実習の分担、書類等

- 学内実習主担当者が中心となり実施したが，厚生労働省の事務連絡に則り，施設実習の担当教員だけでなく，幼保実習小委員会のメンバー（保育士養成に携わる教員）が協力・分担して実施した．また，学外から講師4名を招いた．
- 厚生労働省の通達に定めはなかったが，通常通り実習に参加した学生と異ならないように，出勤簿，実習日誌等を作成した．
- 実習日誌は学内実習担当教員がチェックをしてコメントを記入した．
- 成績は通常の学外実習に使用している様式をベースとして，学内実習版を作成した．

学内実習のスケジュール

	月日	午　前	午　後	本日のねらいと主な内容	該当学生
1日目	3月9日 （火） 1～4	＜学内実習の説明＞ 10日間全体のスケジュール、学内実習のルール説明、目標の設定	＜学内実習の基礎＞ 現場の理解（ビデオ学習）、名札の作成、本日の実習日誌の作成 （2日目受講学生は図書館で必要な資料の入手）	<1日目のねらい> 学内実習について理解し、目的意識をもって学ぶ。 ①学内実習全体について把握する。 ②学内実習における各自の計画をたてる。 ③名札を作成する。 ④実習日誌を書く。 ⑤学内実習の一日の流れを知る。	6名
2日目	3月10日 （水） 1～4	＜母子生活支援施設、児童養護施設、障がい児・者施設について事前調べ学習＞（オンライン） 実習に行く予定だった施設種別以外の施設種別の事前学習	＜午前の講話のレポート、調べ学習、発表＞（オンライン） 各自（orグループ）調べた内容をPPTにして、指定された時間にZoomにつないで発表	<2日目のねらい> 母子生活支援施設、児童養護施設、障がい児・者施設について改めて学ぶ。 ①講話前にそれぞれの施設について改めて学ぶ。 ②自分の調べた施設について発表する。 ③講師から学びたいこと（お聞きしたいこと）を考えておく。 ④実習日誌を書く。	3名
3日目	3月11日 （木） 1～4	＜活動案の作成方法を学ぶ＞ 活動案の作成と準備	＜レクレーションロールプレイ＞ 活動案の作成と準備、レクレーションロールプレイ、本日の実習日誌の作成	<3日目のねらい> 活動案の作成の仕方を学ぶ。 ①活動案の作成方法を学ぶ。 ②活動案を作成する。 ③実際にやってみる（ロールプレイ）。 ④実習日誌を書く。	6名
4日目	3月12日 （金） 2～5	＜講話＞ 母子生活支援施設母と子の家しらゆり 施設長　杉立隆一 先生 現場の実際 … 母子生活支援施設の実態、実習の実際、課題、コロナ禍における対応など	＜午前の講話のレポート、調べ学習、発表＞ 講話を受けて見えてきた課題をもとにした調べ学習・発表、本日の実習日誌の作成	<4日目のねらい> 母子生活支援施設の実態について学ぶ。 ①講話から現場や実習の実情について学ぶ。 ②講話から学んだことを整理する。 ③講話から今後自身がより学ぶべき課題を明確化する。 ④実習日誌を書く。	6名
5日目	3月15日 （月） 1～4	＜講話＞ さわらび福祉会 理事長　金子秀明 先生 現場の実際 … 障害系施設（主に精神障がいについて）の実態、実習の実際、課題、コロナ禍における対応など	＜午前の講話のレポート、調べ学習、発表＞ 重症心身障がい児施設及び肢体不自由児施設に関する動画視聴、講話を受けて見えてきた課題をもとにした調べ学習・発表、本日の実習日誌の作成	<5日目のねらい> 障がい系施設の実態について学ぶ。 ①講話から現場や実習の実情について学ぶ。 ②講話から学んだことを整理する。 ③講話から今後自身がより学ぶべき課題を明確化する。 ④実習日誌を書く。	6名

学内実習のスケジュール

6日目	3月16日 （火） 1～4	＜講話＞ 山科醍醐こどものひろば 理事長　村井琢哉 先生 地域の子ども家庭の実態、必要な支援、そのための課題、コロナ禍における対応など	＜午前の講話のレポート、調べ学習、発表＞ 講話を受けて見えてきた課題をもとにした調べ学習・発表、本日の実習日誌の作成	<6日目のねらい> 地域の家庭や子どもが抱える課題について学ぶ。 ①講話から現場や実習の実情について学ぶ。 ②講話から学んだことを整理する。 ③講話から今後自身がより学ぶべき課題を明確化する。 ④実習日誌を書く。	8名
7日目	3月17日 （水） 1～4	＜講話＞ 児童養護施設天王谷学園 児童指導員　松本充史 先生 現場の実際 … 児童養護施設の実態、実習の実際、課題、コロナ禍における対応など	＜午前の講話のレポート、大学の周辺（地域）学習＞ 講話を受けて見えてきた課題をもとにした調べ学習・発表、、大学周辺の環境について実際に歩いて気づいたことをまとめる、本日の実習日誌の作成	<7日目のねらい> 児童養護施設実態について学ぶ。 ①講話から現場や実習の実情について学ぶ。 ②講話から学んだことを整理する。 ③講話から今後自身がより学ぶべき課題を明確化する。 ④実習日誌を書く。	6名
8日目	3月18日 （木） 1～4	＜レクレーション①＞ 動画視聴「津波避難何が生死を分けたのか」	＜レクレーション①ロールプレイ＞ 高齢者施設の避難についての動画視聴、実習を予定していた施設での災害リスクと対応の検討 本日の実習日誌の作成	<8日目のねらい> ①講話や事前学習を踏まえ、利用者と関係を築くためのレクレーション案を考える。 ②指導案を作成する。 ③実際にやってみる（ロールプレイ）。 ④実習日誌を書く。	3名
9日目	3月22日 （月） 1～4	＜車いす体験＞ 道の駅での車いす体験	＜レクレーション②ロールプレイ＞ 車いす体験で感じたこと、学んだことについてのディスカッションおよび利用者と参加する場合の活動案の作成、本日の実習日誌の作成	<9日目のねらい> ①講話や事前学習を踏まえ、利用者と関係を築くためのレクレーション案を考える。 ②指導案を作成する。 ③実際にやってみる（ロールプレイ）。 ④実習日誌を書く。	3名
10日目	3月23日 （火） 1～4	＜車いす体験と学内実習のまとめ①＞ 近隣公園への車いすでの移動、砂利道等での車いす体験 学内実習のまとめ資料の作成、グループで発表、各グループの講評	＜学内実習のまとめ②＞ 本日の実習日誌の作成、各自「実習の振り返り」の作成、お礼状の作成	<10日目のねらい> 学内実習で学んだこと振り返り、次の実習に生かすことができる。 ①学内実習計画で達成できたことと不十分であったことを振り返る。 ②実習日誌を書く。 ③実習の振り返りの作成 ④お礼状の作成	3名

20

引用・参考文献

榎本祐子（印刷中）「コロナ禍における保育実習Ⅰ（施設）の学内実習の実際」『びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部研究紀要13.

一般社団法人全国保育士養成協議会保育士養成研究所（2020）「指定保育士養成施設における新型コロナウイルス感染症対応に関するQ&A」資料.

厚生労働省子ども家庭局保育課（2020a）「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う指定保育士養成施設の対応について」（令和2年3月2日）事務連絡.

厚生労働省子ども家庭局保育課（2020b）「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う指定保育士養成施設の対応について」（令和2年6月15日）事務連絡.

第 27 回 FD フォーラム

コロナ禍における保育士養成 ー学外実習の学びの意義の再考

大阪千代田短期大学
幼児教育科　本田和隆

1

本日のお話

講演3. 実習指導の概要
- 実習に関わる組織体制
- 実習全体の流れ
- 実習指導の内容①②

講演7. 学内実習の取り組み
- コロナ禍における実習実施の方針
- 2020年・2021年度の状況（2回生）
- 学内実習の取り組み
- コロナ禍における実習を経験して
- コロナ禍における学内実習の意義と課題
- 学外実習における意義とは

2

講演3. 実習指導の概要

実習に関わる組織体制（実習・キャリアサポート委員会）

○　学生の実習や就職・進学を支援するための組織

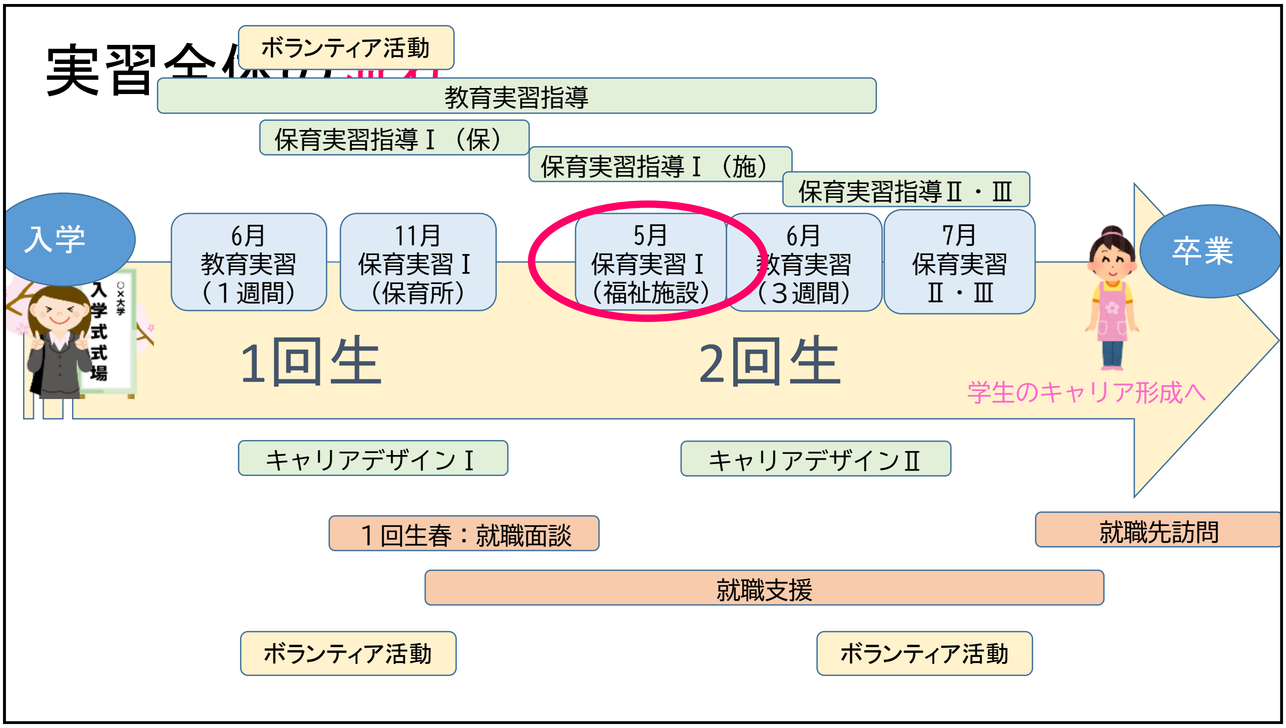
○　委員会構成
「実習指導」担当教員　２名
実習・キャリアサポート室　２名
（内１名はキャリアコンサルタント）

■定例会議
第２水曜日／毎月

■学科会議や教授会に
提案・報告

○実習や進路・就職指導方針や学生の就職活動の現状や課題などについて情報交換を行っている。

実習から就職まで連続性を持ったキャリア形成



5

実習指導の内容①―大切にしていること

〇現実の社会で「働く」こと、その視点を養うこと

〇困難を乗り越えるための力

〇学生の個別対応
　―学生の課題と指導内容の見極め

6

実習指導(授業)の内容②

1. オリエンテーション–保育実習の意義と目的–
2. 実習に必要な事務手続きと留意事項の確認
3. 保育園の概要と子どもの一日の生活の理解
4. 保育園における保育者の仕事
5. 指導計画の立案と模擬授業の実施
6. 実習記録による省察の意義と記述法の指導
7. 実習前の自己課題の明確化
8. 実習園でのオリエンテーションと教員による巡回指導
9. 実習体験後の自己評価と分析
10. 保育者の倫理と守秘義務
11. 実習報告会–実習体験の共有と課題整理–
12. 実習の総括

コロナ禍においては、Googleミートや視聴教材などを通して、何とか実習の事前指導などを行ってきたが、対面授業時のような手ごたえはあまりない・・・。

7

講演7. 学内実習の取り組み

8

コロナ禍における実習実施の方針

- 感染状況により、様々なことが想定されるが、学生にとってより学べる環境を選択すること
- 夏休み終了までに、保育実習、教育実習ともに可能な限り実習を行い、個別対応していく。

9

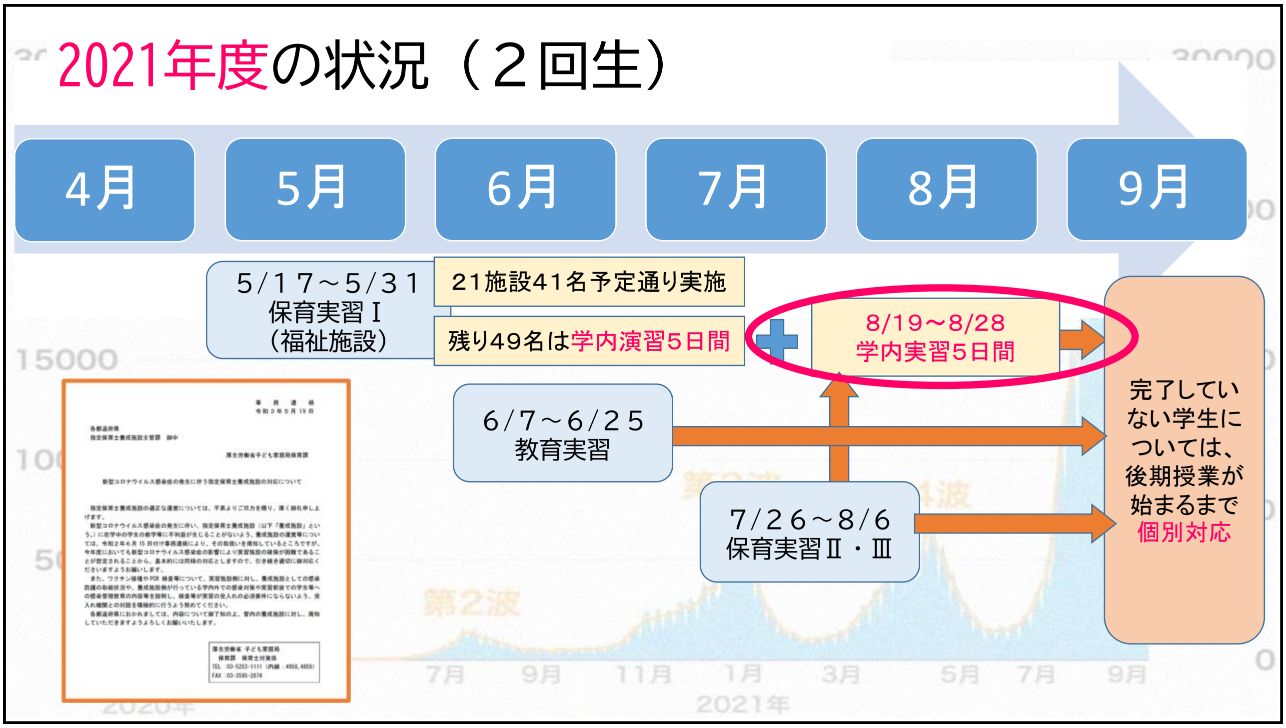
2020年度の状況（２回生）

実習可能施設に交渉して、当初依頼していた10日間を前半・後半に分けて学生を割り振り実施。

- ５月 保育実習Ⅰ（施設）５/
  前半：学内実習７/２０～７/２４＋現場実習７/２７～７/３１
  後半：学内実習７/２７～７/３１＋現場実習８/３～８/７
- ６月 教育実習
  ⇒９/７～９/１８に実施（１０日間）
- ８月 保育実習Ⅱ・Ⅲ １０日間
  ⇒１１/９～１１/２０

10

26



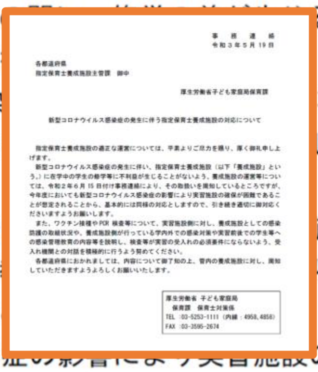
11

1．養成施設の運営に係る取扱い

(1) 養成施設にあっては、新型コロナウイルス感染症の対応等により、実習中止、休講等の影響を受けた学生と影響を受けていない学生 ることがないよう配慮するとともに学生に対して十分な説明

(2) 養成施設にあっては、新型コロナウイルス感染 不足や施設・設備が確保できない等、十分な教育体制を整え じることが想定される。

こうした養成施設においては、できる限り速や 備することが望ましいが、当面の間は、非常勤教員の確保や り、必要最低限の教育体制を整えることとして差し支えない



(3) 養成施設にあっては、新型コロナウイルス感染 の受け入れの中止等により、実習施設の確保が困難である場合には、年度をまたいで実習を行って差し支えないこと。なお、これらの方法によってもなお実習施設の代替が困難である場合、実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えないこと。

12

2021年度の学内実習①　学外実習5/17～5/31

5/19	5/21	5/24	5/26	5/28
ビデオ①「変わりゆく乳児院」	障害児・者体育／子どものアセスメント	障がい者の理解／児童養護施設の小学生を対象とした絵本調べ	模擬保育①	映画鑑賞とレポート作成「わたしは、ダニエルブレイク」
模擬保育について①	障害児・者体育／子どものアセスメント	障がい者の理解／児童養護施設の小学生を対象とした絵本調べ	模擬保育②	
模擬保育について②	映画鑑賞とレポート作成「レディーバード・レディーバード」	模擬保育に向けて	模擬保育の振り返り①	卒業生施設職員を招いて一児童養護施設の実習と学び まとめ
ビデオ②「児童養護施設における施設実習」		アレルギー対応について	模擬保育の振り返り②	

13

2021年度の学内実習②　学外実習8/19～8/28

8/18	8/19	② 8/20	8/23	③ 8/24
	グループ発表に向けて	児童養護施設職員を招いて①	グループ発表に向けて	グループ発表①
オリエンテーション	児童発達支援事業職員を招いて	児童養護施設職員を招いて②	グループ発表に向けて	グループ発表②
① **子ども家庭センター職員を招いて①**	指定障がい者サービス事業所職員を招いて	ドキュメンタリー「君が僕の息子について教えてくれたこと」鑑賞	映画「ふるさとをください」鑑賞	グループ発表③
子ども家庭センターを招いて②	障害者支援施設職員のお話を聞いて	グループ発表に向けて	映画「ふるさとをください」鑑賞	発表について まとめ

14

28

学内実習①:子ども家庭センター職員を招いて

■児童相談所の概要

■児童相談所と保育士・保育園の関係性
・　具体的な事例の紹介

■ 学生の質問コーナー

■ 学びのまとめ

15

学内実習②:児童養護施設職員を招いて

■ 施設や子どもたちのこと
・施設の大きさは何か。収容人数、大舎制？、職員体制など
・長年勤務されたことを振り返り、改めて児童養護施設とは何かについて。
・
■ 実習に関すること
・保育士としての実習内容
・実習することでどのような学びを得られたか。
・施設職員の方から見えてどのようなことを学んでほしいと考えているのか。
・子どもたちが激しくけんかしている時など、対応が難しい子どもに対してどのようにすれば良いのか。

■ 勤務や職員の方に関すること
・施設職員として働いていて辛いこと、大変なこと、苦労したことは何か。
・逆に楽しいこと、やっていて良かったこと、やりがいは何か。
・職員の方々が施設で働こうと思ったきっかけ、動機、保育所ではなくなぜ施設なのかなど。
・施設ではピアノを弾くことはあるのか。

16

学内実習③：グループ発表①

- 全13グループに分かれて1グループ10分程度の発表を行う。
- 発表内容はグループに割り当てられた児童福祉施設を調べること、いくつかの施設について特定の事項を横断的に調べるなど、グループで決定する。
- 発表資料として、パワーポイント等プレゼンソフトで作成する。

17

コロナ禍における実習実務を経験して

- 対応方針を決め、学内で共有しておくこと
- 国の方針をが出る前に決断が迫られること
- 学生に不利益にならないようにすることを常々伝えること

18

コロナ禍における学内実習の意義と課題

意　義	課　題
• コロナ禍における実習の代替案としてはより学べる環境になる可能性がある。 • 現場の先生の話を聞くことによって事前・事後指導をじっくり行うことが出来る。 • 実習が難しかった学生の大きな受け皿となった。 • 講義や現場実習とは違う学び、経験が出来る。学校としてもユニークな取り組みが出来る。 • いつ断られるか、学生などが感染するかなど分からないため最後の砦としての役割	• 日々変化する状況の中で学内実習の準備が大変 ⇒充実した内容に出来ない可能性もある。 • 緊急の対応であるため学内実習の内容は行き当たりばったりのところが否めない。 • 学外実習と並行して行うため担当者は大変 • 代替案としての学びの実現は出来たとしても、現場実習でしか学べないことは多い。

19

学外実習の学びの意義とは

- ■ 現場でしか学べないことがある。
- ■ 学生の（精神的な）成長の機会となる。
- ■ 社会性を身につける機会となる。
- ■ 就職や社会人としての意識の芽生える機会となる。
- ■ 自信にもなる。

学生自身の可能性と限界に気付ける貴重な機会

20

31

コロナ禍における保育士養成
－学外実習の学びの意義の再考－

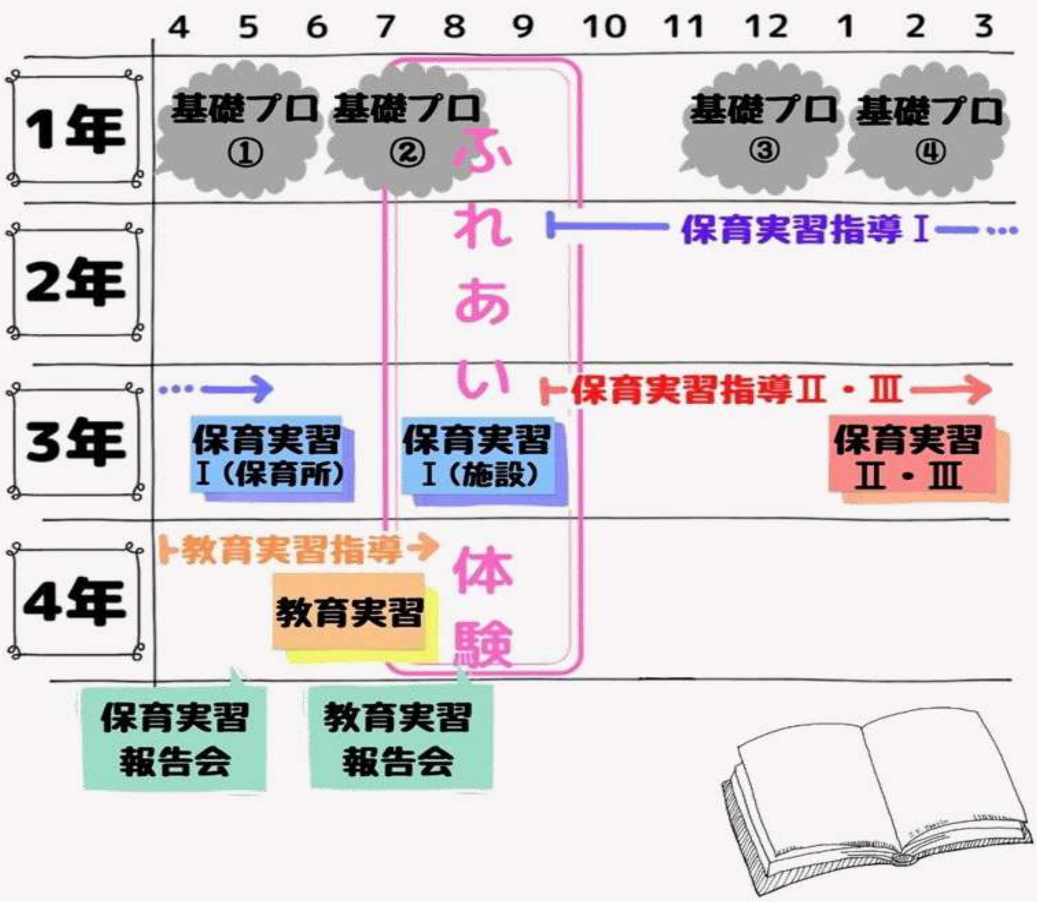
桜美林大学　健康福祉学群　保育専修
大村海太

2022.2.26 FDコンソーシアム京都
第27回FDフォーラム

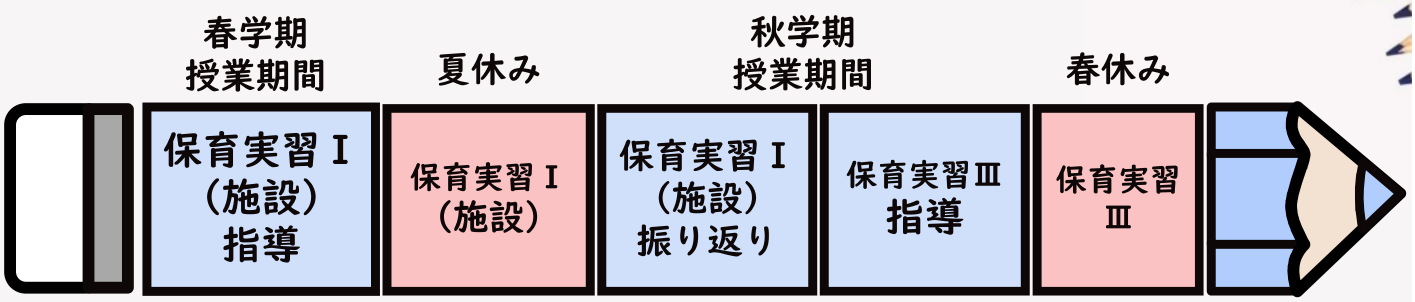
保育士養成校としての桜美林大学

- ☞近年、キャンパスを点在化（新宿、多摩センターなど）
- ☞保育専修はメインキャンパスの町田（東京郊外）
- ☞1学年50名定員（在学生は毎年地方学生が割と多い）
- ☞児童福祉施設等実習先の多くは東京と神奈川
- ☞「保育実習指導Ｉ」は常に3人態勢で授業を実施している

本来の実習時期



本来のスケジュール



緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令期間

1都3県同時	[緊] 2020/4/7（火）～5/25（月） [緊] 2021/1/8（金）～3/21（日） [防] 2022/1/21（金）～2/13（日）
東京	[防] 2021/4/12（月）～4/24（土） [緊] 2021/4/25（日）～6/20（日） [防] 2021/6/21（月）～7/11（日） [緊] 2021/7/12（月）～9/30（木）
神奈川、埼玉、千葉	[防] 2021/4/20（火）～8/1（日） [緊] 2021/8/2（月）～9/30（木）

水色☞保育実習Ⅰ（施設）の期間
紫☞保育実習Ⅲの期間

保育実習指導における オンライン授業の 取り組み

施設見学

コロナ前	コロナ以降
・養護系と障がい系の施設に一か所ずつ訪問見学を実施していた。	・施設の実習担当者or施設長に来学もしくはzoomで実習に関する授業を行っていただいた。

7

オンライン授業

コロナ前 （対面授業でこそ効果が高いと思われる内容）	コロナ以降 （オンラインで効果を発揮したと思われる内容）
・ロールプレイ	・オンラインでの課題提出 ・様々なオンラインツールを使った演習

8

オンライン授業で利用したツール

- ●moodle
- ●google forms
- ●mentimeter
- ●miro
- ●comment screen
- ●padlet

コロナ禍における施設実習の取り組みと振り返り

コロナ禍以降の保育実習の対応

①実習先の児童福祉施設等に実施の不可について確認

②施設側の対応を学生に報告し、学生本人と保護者の意向を確認

③施設・学生（保護者）双方の合意が得られた場合のみ、実習実施を許可した。

訪問指導

コロナ前	コロナ以降
・『実習実施基準』に則り、全ての実習先に訪問指導を行っていた。	・基本は訪問させていただくスタンスを維持し、施設側が訪問を受け入れてくれない場合は、電話 or zoomでの指導に切り替えた。

保育実習Ⅰ（施設）を実施した学生を対象としたアンケート調査

コロナ禍で実習内容に制限はありましたか？

- 普段ならば子ども達と一緒にご飯を食べることが出来たらしいが、今回は休憩中に食べることになり、食事中の子ども達の様子を見る機会が少なかった。（児童発達支援センター(福)）
- 感染対策による制限のため、観察実習となった。（障害児入所施設(医)）

13

保育実習Ⅰ（施設）を実施した学生を対象としたアンケート調査

コロナ禍だからこそ学べたことはありますか？

- 夏休みであっても、子どもたちがずっと施設内にいたので、関わる時間はたくさん取れたと思う。一人ひとりと長くかかわれた。（児童養護施設）
- 最終日に参加した夏祭りでは、コロナ禍で3部制となったり、教室が密にならないよう先生方がどう対処していくのか会議も見られ、臨機応変かつたくさんの想定をされている場面を多く見られた。（児童発達支援センター(福)）
- 一対一で子どもと関わっている時より全体を観察することができた。（児童発達支援センター(福)）

実習先の指導担当者へのアンケート

コロナ禍における実習受け入れに対する不安や悩み、また実習内容に工夫や変更をした部分について、よろしければ教えてください。

●実習期間中に施設内の新型コロナ対応で、夜間に貴校と学生に連絡がつかなかった。（母子）
●昨年のコロナ禍に続き、オンライン授業によるものか否か、実習に不安を抱えているのか精神的に弱いと受け止めている。（母子）
●コロナ禍で実習内容は縮小している。接触が限られてしまうので残念なところ。（児童養護）
●本来なら食卓の場面は大事な学びが詰まっているが、コロナ禍においては同じ食卓で食べる訳にいかなかったので、距離を取り、観察だけはできるように工夫した。（児童養護）

15

実習を実施した担当者へのアンケート

コロナ禍における実習受け入れに対する不安や悩み、また実習内容に工夫や変更をした部分について、よろしければ教えてください。

●利用者とのふれあいはせず、距離をとっての関わり等に限定。（障害児入所）
●学生さんの私生活は分からないので、感染の危険度が把握できない。（児童養護）

16

実習を実施した担当者へのアンケート

その他（ご自由に忌憚ないご意見等をお書きください。）

●コロナ禍ですが、できる限り学生さんたちの学びの場を提供できるようにご協力したいと思います。

まとめ

●コロナ禍において、実習指導や実習の内容に様々な制限は受けたものの、コロナ禍だからこそ学べることもたくさんあった。
●やはり生の利用児・者がいる現場実習は机上の学びに代えがたいものがある。
●感染リスクに配慮した実習をするためには、施設、学生とのメール、電話での連携が必須となる。同時に、実習担当者にはこれまで以上の負担がかかる。